

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	小田原市栄町二丁目中央地区優良建築物等整備事業	階数	地上19F、地下1F
建設地	神奈川県小田原市栄町2丁目59-3他43筆	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,144 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2023年7月26日
敷地面積	5,619 m ²	作成者	飛鳥建設株式会社
建築面積	3,578 m ²	確認日	2023年7月26日
延床面積	39,104 m ²	確認者	飛鳥建設株式会社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
良好な都市環境を形成し、賑わいのある街並みを維持するよう努める計画とした。また、高い外皮性能を計画し省エネルギーで快適な室内環境を整えられるよう努めた。		
Q1 室内環境 外皮性能として、住居部分日本住宅性能表示5-1断熱など性能等級5を満たす計画とし省エネルギーで快適な室内環境を整えられるよう努めた。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い配管を採用して更新必要間隔を長くするように努めた。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内には適切に緑化を施すことで地表面温度上昇を極力抑える計画とした。
LR1 エネルギー 適切な断熱材を施し外皮の熱負荷抑制に努めた。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない材料を使用するよう努めた。	LR3 敷地外環境 適切な量の駐車場を設置して交通負荷抑制に努めた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される